



## DESCRIPTION

KIVAラインソースシステムの再生周波数帯域幅は80Hz~20kHzです。低域を拡張するKILOキャビネットを加えれば、このレスポンスを50Hzまで広げることができます。

KIVAのパスレフ型エンクロージャーには6.5インチのドライバが2つと、高域を生成するための1.5インチのHFダイアフラム・コンプレッションドライバがDOSCウェーブガイドと共にマウントされています。パッシブ・クロスオーバー・ネットワークは、内蔵のフェイズ補正とともに2次フィルターを機能させます。

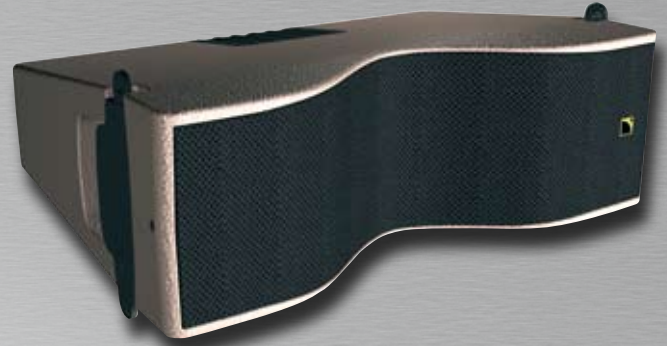
同平面に並んだV字型のトランスデューサー構成により、パターンコントロールが放射軸に対して左右対称で水平方向に100°のボラーパターンを生みます。このとき、周波数帯域で干渉は一切生じません。

高域帯でコプラナーシンメトリーとDOSCウェーブガイドの特徴を組み合わせることにより、5つのWST基準すべてに適合します。よってエレメント間の音響的なカップリングを破壊することなく、KIVAラインソースの波面をエレメントごとに最大で15°までカーブさせられます。

内蔵された、ダイキャストの3ポイント・リギングシステムが完全に一体化されているKIVAキャビネットは最高で20台、もしくはKIVA 12台とKILO 4台を適切にフライングすることが可能です。

KIVAのキャビネットは優れたメカニズムと音響特性を持つ、独自の合成素材から作られています。これはバルト海産のカバの合板に非常によく似ていますが、湿気に強いという利点を持ち合わせています。

KIVAのコントロールとドライブにはL-ACOUSTICS LA4を使用します。KIVAの性能は、選択したプリセットと物理的なシステム構成に依存します。



## CHARACTERISTICS

### 周波数特性(-10dB)

有効帯域幅 80 - 20k Hz “ラインソース” 構成

### 公称の指向性(-6dB)

水平方向 100° 左右対称 500 Hz - 18 kHz

垂直方向 エレメントの台数とラインソースの湾曲具合に依存  
エレメント間の角度は0°~15°

### 最大音圧レベル<sup>1</sup>

“フルレンジ” モード 120 dB (連続) 126 dB (ピーク) 1 x KIVA (KIVA プリセット)

入力(連続) 120W

### コンポーネント

LF: 2 x 6.5" 耐水性

HF: 1 x 1.5" ダイアフラム・コンプレッションドライバ

公称インピーダンス: 8 Ω

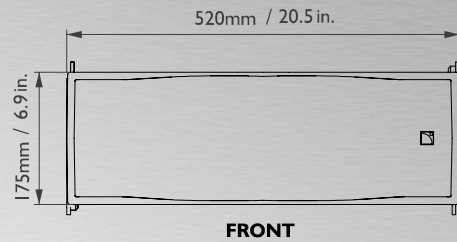
### リギング

完全な収納型、メーカー承認の良質のスチールを使用することにより、KIVAを20台、又はKIVA 12台+KILO 4台を連結可能  
角度調整: 0、1、2、3、4、5、7.5、10、12.5、15°

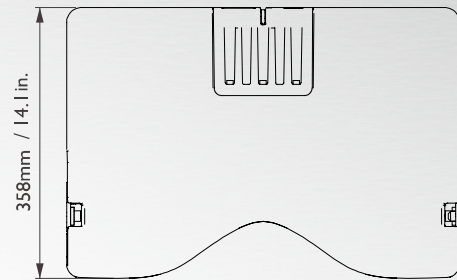
### エンクロージャー

- ・寸法: 520(w) x 175(h-f)/103(h-r) x 358(d) mm
- ・重量: 13 kg
- ・コネクター: 2 x 4-pin ノイトリックスピコン
- ・マテリアル: 合成合板 スチールに黒色コーティング
- ・仕上げ: マロングレー RAL 8017
- ・グリル: 音響透過性クロス材
- ・リギング: ハンドルとフライングハードウェア内蔵

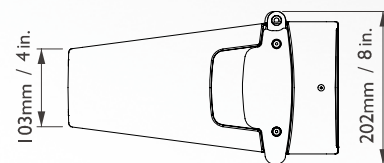
<sup>1</sup> プリセットと適切なEQセッティングにて、ピンクノイズを用いた自由空間上1mでの最大音圧レベル



FRONT



TOP



SIDE

# ベストエックオーディオ株式会社

本社 〒130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826  
URL: <http://www.bestecaudio.com>

大坂営業所 〒531-0072 大阪府北区豊崎 3-4-14-602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164  
Email: [info@bestecaudio.com](mailto:info@bestecaudio.com)

仕様規格・外観は、予告なく変更することがあります。